

事務事業マネジメントシート

事務事業名 たぬまふるさと館維持管理事業		本年度担当課	観光推進課				
		前年度担当課	観光推進課				
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり	新規・継続	継続事業			
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	実施計画・一般	一般事業			
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備	市単独・国県補助	市単独事業			
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理	任意・義務	任意的事業			
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名		実施方法	直営		
	一般	07	01	01	たぬまふるさと館維持管理事業	事業分類	施設維持管理事業
事業計画		単年度繰り返し	事業期間	平成20年度 ~		市長公約	該当なし
根拠法令・条例等		佐野市たぬまふるさと館条例、佐野市たぬまふるさと館条例施行規則					
事業区分				総合戦略	該当なし		

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）								
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）		令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）						
田沼地区を中心とした歴史、産業、芸術、文化、生涯学習の拠点施設として、地域産業の発展、教養文化の向上を図る。		観光施設の紹介、遺跡出土品・伝統産品・特産物の展示。 企画展等市民の発表の場を提供する。 山城サミットで使用した甲冑や資料を展示し、国指定史跡唐沢山城跡のPRを実施する。						
		活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		各種契約事務	件	3	3	3	3	3
	施設設備、修繕回数	回	1	3	1	1	1	
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）								
市民		対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		市民数（人口）	人	116,982	115,700	114,000	112,000	109,878
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）								
市民の展示会開催等による文化的活動の促進と地域産業の周知。		成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		来館者数	人	目標 12,500 実績 2,670	5,000 5,056	7,000	9,000	11,000
		展示室利用団体	組	目標 20 実績 6	20 17	20	25	25
④結果（どのような結果に結びつきますか？）								
観光資源が安全な利用が可能になっている。		上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		案内看板改修整備数	箇所	目標 2 実績 2	2 2	2	2	2

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	826	1,021	0	0	0	
	一般財源	千円	2,927	3,387	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	3,753	4,408	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					需用費	1,985		
					委託料	1,964		
					使用料及び賃借料	360		
					役務費	98		
	人件費	職員従事工数	人工	0.07	0.07	0	0	
	人件費計(B)	千円	513	510	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,266	4,918	0	0		

B表（事後評価シート）

事務事業名	ためまふるさと館維持管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成8年度、ためまふるさと館（田沼町商工会館併設）建設に伴い事業開始。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より指定管理者制度を導入し、佐野市あそ商工会を指定管理者として指定してきたが、平成30年度から市直営による管理へ移行した。利用者数は平成27年度を境に減少に転じるとともに、展示室の利用についても減少傾向にある。佐野市市有施設適正配置計画における施設評価はA（廃止・譲渡）と判定された。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	地域物産展示コーナーのリニューアル、活用について改善が求められている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的（対象・意図）再設定	観光誘客の推進を図るため、平成29年度に実施した山城サミットの資料等を展示し、国指定史跡唐沢山城跡のPRを継続的に実施した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びつくが見直しの余地がある	市でなければできない	妥当である	人件費の削減余地がある
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
譲渡に向けた検討・協議を行えなかった。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の影響か、団体での利用が以前の数字に戻っていない。		PRを行う。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			事業のやり方改善（成果向上の見直し） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	譲渡の検討、調整
	中		○		
	小				
	成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業				本年度担当課	観光推進課
					前年度担当課	観光推進課
政策 体系	基本目標	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		新規・継続	継続事業
	政策	01	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		実施計画・一般	一般事業
	施策	02	魅力ある観光資源の開発と整備		市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	02	利便性の高い観光施設の整備・維持管理		任意・義務	任意的事業
予算 科目	会計	款	項	目	予算事業名	
	一般	07	01	04	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業	
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成2年度 ~		
根拠法令・条例等	佐野市万葉自然公園かたくりの里条例					

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）											
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）				令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）							
万葉自然公園かたくりの里の維持管理 ・施設の管理、修繕 ・各種業務の委託（管理センター警備、消防設備保守点検、駐車場・群生地清掃業務等） ・業務委託先との連絡調整				万葉自然公園かたくりの里の維持管理 ・施設の管理、修繕 ・各種業務の委託（管理センター警備、消防設備保守点検、駐車場・群生地清掃業務等） ・業務委託先との連絡調整 ※ナラ枯れ被害対策事業実施							
				活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
				修繕箇所	箇所	2	4	2	2	2	
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）											
観光客				対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
				市内観光客入込数	千人	6,503	6,430	8,600	8,700	8,800	
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）											
施設来場者数の増加				成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
				来場者数	人	目標	30,000	30,000	30,000	31,000	32,000
						実績	26,222	22,316			
④結果（どのような結果に結びつきますか？）											
観光施設が安全な利用が可能になっている。				上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
				観光施設改修整備数	箇所	目標	5	7	7	7	7
						実績	10	12			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,336	3,780	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	3,336	3,780	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	2,218		
					使用料及び賃借料	557		
				工事請負費	503			
				需用費	431			
		役務費	71					
人件費	職員従事工数	人工	0.07	0.12	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	513	874	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,849	4,654	0	0	0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市が昭和63年から、かたくり群生地を中心に用地を買収するなど周辺を整備し、平成2年「万葉自然公園かたくりの里」として開園したことによる
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	開園時からの観光キャンペーンの実施や広告掲載、メディアへの情報提供により、「かたくり」の知名度は全国的なものになりつつある。一方、レジャーの多様化や類似施設の増加等により、来場者は減少している。イノシシの侵入が心配されている。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければならない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
かたくりシーズン以外の誘客、カタクリの保全			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の影響か、目標に達することができなかった。		観光PR、特に開花期間中の状態などを注視し、ホームページ掲載等を継続して行う。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中	○			
	小				
	成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名	道の駅どまんなかたぬま指定管理事業					本年度担当課	観光推進課	
						前年度担当課	観光推進課	
政策 体系	基本目標	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業 区 分	新規・継続	継続事業
	政策	01	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業
	施策	02	魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	02	利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業
予算 科目	会計	款	項	目	予算事業名			
	一般	07	01	04	道の駅どまんなかたぬま指定管理事業			
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成20年度 ~				
根拠法令・条例等	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例、佐野市道の駅どまんなかたぬま条例施行規則							

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)							
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方) 道の駅として、道路利用者への情報、休憩施設の提供及び情報発信、地域間の交流及び市の産業振興を図る。 道の駅どまんなかたぬまの維持管理・運営を、(株)どまんなかたぬまを指定管理者として実施する。	令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)						
	活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
	開館日数	日数	315	316	317	312	313
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)							
市民、観光客	対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
	市民数	千人	116,982	115,700	114,000	112,000	109,878
	関東地方1都6県の人口	千人	47,500	43,535	42,000	41,000	40,000
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)							
道の駅利用者へのサービス向上、情報提供を行う。また、トイレなどの施設を整備し利用者に提供する。その他農産物直売やレストラン運営などを行い、来場者の利用促進を向上させ、利用者の増加を図る。	成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	来場者数	千人	目標 2,150 実績 2,145	2,160 1,906	2,170	2,180	2,190
	売上額	百万円	目標 1,715 実績 1,701	1,750 1,514	1,800	1,850	1,900
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)							
観光施設が安全な利用が可能になっている。	上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	案内看板改修整備数	箇所	目標 1 実績 2	2 2	2	2	2

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)		R4年度 (実績)		R5年度 (目標)		R6年度 (目標)		R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0	
	県支出金	千円	0		0		0		0		0	
	地方債	千円	0		0		0		0		0	
	その他	千円	0		0		0		0		0	
	一般財源	千円	49		50		0		0		0	
	事業費計(A)	千円	49		50		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					役員費	50						
	人件費	職員従事工数	人工	0.06		0.06		0		0		0
	人件費計(B)	千円	440		437		0		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	489		487		0		0		0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	道の駅どまんなかたぬま指定管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年度から指定管理者制度に移行したことにより始まった。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より指定管理者制度導入、(株)どまんなかたぬまを指定管理者とした。気候変動や社会経済情勢の変化に伴い、近年発生する災害も複雑多様化の一途をたどるなか、国土交通省では道の駅の防災拠点化に取り組んでいる。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	②のような情勢に伴い、危機管理課では道の駅どまんなかたぬまを地域防災計画上の避難場所に位置付けたい考えがある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持（従来通り実施）	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はあるが、統合・連携できない	観光物産会館等指定管理事業	成果向上余地がある程度ある	向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
総売上高は、対前年比104パーセントと前年実績を上回りました。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の影響で来場者数が減少し、まだ感染前に戻っていない。		新型コロナウイルス感染症の影響で注視となったイベントなどの復活	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中		○		
	小				
	成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名		観光施設改修事業				本年度担当課	観光推進課	
						前年度担当課	観光推進課	
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業	
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業	
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	国県補助事業	
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業	
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	直営	
	一般	07	01	04	観光施設改修事業	事業分類	施設維持管理事業	
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成19年度 ~		市長公約	該当なし
							総合戦略	該当なし
根拠法令・条例等								

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）								
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）		令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）						
老朽化した観光施設の改修を適切に行うことで観光客の安全性及び利便性を図り、佐野市のイメージアップ及び観光誘客へと結びつける。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓬山ログビレッジ遊具改修工事 ・ 水上アスレチックポンプ工事 ・ あきやま学寮大浴場漏水改修工事 ・ ウッドランド森沢サンゴ棟・フズリナ棟・マイマイ棟空調設備整備工事 ・ ナウマン棟屋根改修工事 ・ ノスリ棟屋根工事 ・ 根古屋森林公園コテージ畳床板改修工事 ・ 唐沢山遊歩道階段改修工事 ・ かたくりの里管理棟ウッドデッキ改修工事 ・ ベンチ改修工事 						
		活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		改修工事箇所数	箇所	11	12	14	14	14
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）								
市有観光施設		対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		市有観光施設数	箇所	14	14	14	14	14
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）								
適切な施設改修により観光客の利便性を図り、佐野市のイメージアップと観光客の増加に結び付ける。		成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		市内観光客入込数	千人	目標 10,000 実績 6,503	8,500 6,429	8,600	8,700	8,800
④結果（どのような結果に結びつきますか？）								
観光施設において安全な利用が可能になっている		上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		案内看板改修整備数	箇所	目標 1 実績 2	2 2	2	2	2

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	1,000	1,000	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	5,617	0	0	0	
	一般財源	千円	6,023	1,970	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	7,023	8,587	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					工事請負費	8,587		
	人件費	職員従事工数	人工	0.12	0.17	0	0	0
	人件費計(B)	千円	879	1,239	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,902	9,826	0	0	0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	観光施設改修事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	年数の経過により修繕が必要であるが、一度に直すことができないので計画的な修繕、改修工事が必要である。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	国や県による観光政策の振興により、観光施設に対してより高い内容が求められている。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	議会や各施設管理者から、利用者に不便、不快な思いをさせないよう早急な修繕を求む意見が寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければならない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
各施設において観光客の安全性及び利便性を図ることができた。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の影響により目標に達することができなかった。		佐野市観光推進基本計画に基づき観光客誘客の事業を推進する。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中	○			
	小				
	成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名		観光施設公衆トイレ等維持管理事業				本年度担当課	観光推進課		
						前年度担当課	観光推進課		
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業		
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業		
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業		
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	一部委託		
	一般	07	01	04	観光施設公衆トイレ等維持管理事業	事業分類	施設維持管理事業		
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成17年度 ~		市長公約	該当なし	
根拠法令・条例等		佐野市観光施設条例		佐野市観光施設条例施行規則				総合戦略	該当なし

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)													
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)								
観光施設の公衆トイレ (かたくりの里トイレ・マンサクの花咲く道トイレ・唐沢山トイレ・須花坂公園トイレ・蓬莱山トイレ・宇津野洞窟駐車場トイレ・五丈の滝駐車場トイレ、犬伏新町薬師堂の仮設トイレ)、蓬莱山野外休憩施設、旧田沼高校北側藤棚、唐沢山県立自然公園、首都圏自然歩道(唐沢山)等の適切な維持管理を行う。 ※R4をもって蓬莱山野外休憩施設廃止					各トイレの浄化槽管理・清掃委託 蓬莱山公衆トイレブレーカー修繕、蓬莱山トイレポンプ修繕、唐沢山レストハウス外公衆トイレ排水管修繕、宇津野洞窟照明修繕、蓬莱山洋式トイレレバーハンドル修繕、蓬莱山トイレ給水パイプ修繕								
					活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
					清掃回数	回	300	300	300	300	300		
施設巡回回数	回	24	24	24	24	24							
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)													
観光資源 (トイレ・駐車場・休憩施設・水汲み場等)					対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
					管理する観光資源数		箇所	15	15	15	15	15	
					③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
観光地に訪れた人に不快感なくトイレ・駐車場・休憩施設・水汲み場等を利用してもらう。					成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
					市内観光客入込数		千人	目標	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
								実績	6,503	6,429			
								目標					
								実績					
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)													
観光施設が安全利用が可能になっている。					上位成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
					市有観光施設等改修箇所数		箇所	目標	7	7	7	7	7
								実績	10	12			
								目標					
								実績					

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)		R4年度 (実績)		R5年度 (目標)		R6年度 (目標)		R7年度 (目標)		
		国庫支出金	千円	0		0		0		0		0	
	県支出金	千円	146		154		0		0		0		
	地方債	千円	0		0		0		0		0		
	その他	千円	0		0		0		0		0		
	一般財源	千円	2,929		3,384		0		0		0		
	事業費計(A)	千円	3,075		3,538		0		0		0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
					委託料	2,203							
					需用費	1,009							
					役務費	224							
					使用料及び賃借料	103							
人件費	職員従事工数	人工	0.1		0.18		0		0		0		
	人件費計(B)	千円	733		1,312		0		0		0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,808		4,850		0		0		0		

B表（事後評価シート）

事務事業名	観光施設公衆トイレ等維持管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市民・観光客の利便性向上のためトイレ等の整備を行った。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	国や県の観光政策の振興や外国人観光客の増加に伴い、観光施設に対する要望は高まっている。トイレの洋式化を要望されることがある。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	観光施設等のトイレの様式化の要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持（従来通り実施）	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
現状において事業者や地域への委託業務が最善の方法であるため。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
定期的に施設の点検を実施しているため。		継続的な施設の維持管理	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中		○		
	小				
	大 中 小 成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名		栃木県温泉保護開発協会参画事業				本年度担当課	観光推進課		
						前年度担当課	観光推進課		
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業		
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業		
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業		
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	直営		
	一般	07	01	04	栃木県温泉保護開発協会参画事業	事業分類	支援事業		
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成12年度 ~		市長公約	該当なし	
根拠法令・条例等								総合戦略	該当なし

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)																	
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)												
栃木県温泉保護開発協会に会員として負担金を支出している。また協会主催の講習会への参加により、温泉専門分野の情報収集を行っている。					(市の活動) 同協会への負担金の支出、講習会参加、負担金7千円 (栃木県温泉保護開発協会の活動) 会議(書面会議)、温泉講習会の開催や栃木の温泉PR冊子の発行、その他情報提供等を実施												
										活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
										温泉講習会の受講	回	1	1	1	1	1	
PR冊子への照会記事掲載	回	1	1	1	1	1											
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)																	
佐野市温泉スタンド (補助対象団体) 栃木県温泉保護開発協会					対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)					
					温泉スタンド数	箇所	1	1	1	1	1						
					協会会員数	人	49	49	49	49	49						
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)																	
安全な温泉利用の促進と適正な温泉保護による温泉利用者の増加					成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
					佐野市温泉スタンド利用量	t	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000					
							実績	360	293								
							目標										
							実績										
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)																	
観光施設が安全な利用が可能になっている。					上位成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
					市有観光施設等改修箇所数	箇所	目標	7	7	7	7	7					
							実績	8	12								
							目標										
							実績										

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)		R4年度 (実績)		R5年度 (目標)		R6年度 (目標)		R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0	
	県支出金	千円	0		0		0		0		0	
	地方債	千円	0		0		0		0		0	
	その他	千円	0		0		0		0		0	
	一般財源	千円	7		7		0		0		0	
	事業費計(A)	千円	7		7		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					負担金、補助及び	7						
人件費	職員従事工数	人工	0.02		0.02		0		0		0	
	人件費計(B)	千円	147		146		0		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	154		153		0		0		0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	栃木県温泉保護開発協会参画事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成12年に、旧田沼町で温泉スタンドを設置したため協会に参加した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	温泉法が改正され、平成19年10月20日より温泉成分の定期的な（10年以内）再分析が義務付けられた。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上しなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
負担金であり、必要最低限の額であるため			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中	○			
	小				
	成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名		万葉自然公園かたくりの里ナラ枯れ被害対策事業				本年度担当課	観光推進課		
						前年度担当課	観光推進課		
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	新規事業		
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業		
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業		
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	直営		
	一般	07	01	04	万葉自然公園かたくりの里ナラ枯れ被害対策事業	事業分類	施設維持管理事業		
事業計画		単年度のみ		事業期間	令和4年度 ~ 令和4年度		市長公約	該当なし	
根拠法令・条例等								総合戦略	該当なし

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)						
カシナガが媒介するナラ菌により引き起こされるナラ枯れ被害により枯損した樹木で、倒木、落枝等により市民、観光客等への重大な被害を及ぼす危険木の排除 (伐倒、くん蒸や運搬、破碎等の対策) を行う。 ※ナラ枯れ被害緊急対策事業費補助金を活用			ナラ枯れ被害対策 ・伐倒、立木くん蒸、粘着シート被覆 ・くん蒸 2.9㎡						
			活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			伐倒本数	本	0	2	0	0	0
			立木くん蒸	本	0	5	0	0	0
			粘着シート被覆	本	0	17	0	0	0
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
万葉自然公園かたくりの里			対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			対象本数	本	0	24	0	0	0
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
危険木の排除 (伐倒、くん蒸や運搬、破碎等の対策) を行う。			成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			排除本数/危険木本数	%	目標 0	100	0	0	0
					実績 0	100			
					目標				
					実績				
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)									
観光施設において安全な利用が可能になっている。			上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			観光施設等改修箇所数	箇所	目標 5	7	7	7	7
					実績 12	11			
					目標				
					実績				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)		R4年度 (実績)		R5年度 (目標)		R6年度 (目標)		R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0	
	県支出金	千円	0		550		0		0		0	
	地方債	千円	0		0		0		0		0	
	その他	千円	0		0		0		0		0	
	一般財源	千円	0		550		0		0		0	
	事業費計(A)	千円	0		1,100		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	1,100						
人件費	職員従事工数	人工	0		0.01		0		0		0	
	人件費計(B)	千円	0		73		0		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0		1,173		0		0		0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	万葉自然公園かたくりの里ナラ枯れ被害対策事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	ナラ枯れ被害は栃木県南部では令和2年度から、佐野市では令和4年度から確認された。令和4年度に急激な被害拡大となり、栃木県の「ナラ枯れ被害緊急対策事業費補助金」を活用し、防除することとなった。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	令和3年度まで被害が大きくなかったが、令和4年度に爆発的にナラ枯れ被害が拡大した。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	議会から令和4年度早期発見をして早期駆除をしていくということが非常に重要になってくる。二次被害が非常に心配されるとの意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			取組むことができなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
単年度事業のため			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中	○			
	小				
	成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名		観光物産会館等指定管理事業				本年度担当課	観光推進課
						前年度担当課	観光推進課
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	直営
	一般	07	01	05	観光物産会館等指定管理事業	事業分類	施設維持管理事業
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成20年度 ~		
根拠法令・条例等		佐野市観光物産会館条例、佐野市観光物産会館条例施行規則					

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)				令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)							
佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館において、観光情報の提供や地場製品の展示販売の健全かつ運営効率向上を図るため、観光や物産の振興を特定目的とする佐野市観光協会を指名し、指定管理者として運営を委託する。				佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館の管理運営の委託 (令和3年度～令和5年度)							
				活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
				管理委託料	円	2,100	2,100	1,000	1,000	1,000	
		指定管理者との打合せ回数	回	12	12	12	12	12			
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
観光客		対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)		
		市の観光客入込数		千人	6,530	6,429	8,600	8,700	8,800		
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
観光客等に佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館の存在を知ってもらい、訪問し、佐野市の物産品を購入してもらう。		成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		観光物産会館来館者		人	目標 410,000	250,000	311,000	365,000	368,000		
		観光物産会館売上額		千円	実績 182,430	246,802					
					目標 240,000	150,000	180,890	206,390	217,890		
					実績 102,005	144,167					
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)											
観光施設が安全な利用が可能になっている。				上位成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				案内看板改修整備事業		箇所	目標 1	2	2	2	2
							実績 2	2			
							目標				
							実績				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,657	8,020	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	5,657	8,020	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					負担金、補助及び委託料	5,350				
					需用費	2,100				
				使用料及び賃借料	346					
				役務費	189					
					36					
人件費	職員従事工数	人工	0.07	0.17	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	513	1,239	0	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,170	9,259	0	0	0			

B表（事後評価シート）

事務事業名	観光物産会館等指定管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成6年中央公民館老朽化に伴い、観光客の入込の多い関東の三大師「佐野厄よけ大師」前の地の利を活かし、来訪する観光客への観光情報の提供や物産品の展示販売のため、公民館との複合施設として平成7年に設置された。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	平成15年に佐野新都市地区に2大ショッピングモールができたことにより、本市における観光のあり方や誘客が大きく変化した。同年、観光物産会館も従来の委託方式から指定管理者の運営へ移行した。平成19年に指定管理者である佐野市観光協会が任意団体から中間法人へ、平成21年は中間法人から一般社団法人となった。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
徐々にではあるが、新型コロナウイルス感染症拡大前の状態に近づいている。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、来場者数が以前まで戻らず、目標に達することができなかった。		バス旅行による観光客が来場者数、売上額に大きく影響をしている。新型コロナウイルス感染症の影響で10分の1近く減少したため、バス・旅行事業者への対応を図る。また、非来店型での商品販売を拡大する。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			事業のやり方改善（成果向上の見直し） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 令和5年度をもってみかも山観光物産会館を廃止する。	指定管理料に頼らない経営を目指す
	中	○			
	小				
	成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名		あきやま学寮等指定管理事業				本年度担当課	観光推進課
						前年度担当課	観光推進課
政策 体系	基本目標	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			新規・継続	継続事業
	政策	01	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			実施計画・一般	一般事業
	施策	02	魅力ある観光資源の開発と整備			市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	02	利便性の高い観光施設の整備・維持管理			任意・義務	任意的事業
予算 科目	会計	款	項	目	予算事業名		事業 区分
	一般	07	01	06	あきやま学寮等指定管理事業		実施方法
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成18年度 ~		事業分類
							市長公約
							総合戦略
根拠法令・条例等		佐野市観光施設条例、佐野市観光施設条例施行規則					

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）											
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）				令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）							
本市の観光施設である（あきやま学寮・古代生活体験村・ウッドランド森沢・体験館）の利用促進のため指定管理者と協定を結び、施設の維持管理・運営を委託する。 また、安全安心の施設利用のための施設の修繕等を行う。				指定管理者と協定を結び、施設の運営、維持管理を委託した。 施設の各種修繕を行い施設の機能保全を行った。							
				活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
				修繕箇所	箇所	4	4	4	4	4	
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）											
宿泊者、観光客				対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
				市の観光客入込数	千人	6,503	6,429	8,600	8,700	8,800	
				市の観光客宿泊数	人	40,914	56,943	61,000	62,000	63,000	
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）											
目的	施設利用者の増加 利用料収入の増加 運営経費の削減				成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
					施設利用者数	人	目標 9,500 実績 564	7,000 1,178	7,100	7,200	7,300
					指定管理料を除く収入	千円	目標 38,130 実績 2,172	40,000 4,135	41,000	42,000	43,000
④結果（どのような結果に結びつきますか？）											
本市で宿泊・体験してもらう				上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
				体験型宿泊施設の宿泊者数	人	目標 14,100 実績 1,891	9,000 3,708	9,100	9,200	9,300	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(目標)	R6年度(目標)	R7年度(目標)		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	11,698	13,277	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	11,698	13,277	0	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
					委託料	9,650			
					需用費	1,442			
					工事請負費	1,157			
					使用料及び賃借料	562			
				役務費	463				
		公課費	2						
人件費	職員従事工数	人工	0.12	0.17	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	879	1,239	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,577	14,516	0	0	0		

B表（事後評価シート）

事務事業名	あきやま学寮等指定管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	「山村都市交流環境総合整備モデル事業」を導入し、平成4年度から平成7年度までの4年間でウッドランド森沢・古代生活体験村・あきやま学寮の3施設を整備し、平成11年度に「山村振興等農林漁業特別対策事業」で体験館を整備した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	開始時期に比べ、小中学校等の団体利用が増えているが、全体の利用者数はあまり変化がない。特に冬季の利用が極端に少ない状況で推移していた。東日本大震災直後は利用者の減少が見られたが、平成24年度以降徐々に回復しつつあったが、近年は減少傾向にある。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	施設の老朽化を指摘されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	指定管理者との事業の見直しを行い、成果向上、経費削減のためホームページによる施設情報提供、スタッフ会議を毎月実施した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
事業の見直しや経費削減に努めたほか、新型コロナウイルスの感染が収まり、宿泊客が増えてきた。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の影響と施設運営方法		効果的な宣伝と運営方法	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性		(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策	
目標達成度	大			事業のやり方改善（成果向上の見直し）		指定管理料、運営方法	
	中		○	* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。			
	小			指定管理者との連絡を密にし、サービス向上、経費削減に努める。			
		大	中	小	成果向上余地		

事務事業マネジメントシート

事務事業名		根古屋森林公園指定管理事業				本年度担当課	観光推進課
						前年度担当課	観光推進課
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	指定管理者
	一般	07	01	06	根古屋森林公園指定管理事業	事業分類	施設維持管理事業
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成18年度 ~		
根拠法令・条例等		佐野市観光施設条例、佐野市観光施設条例施行規則					

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）										
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）				令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）						
根古屋森林公園の総合案内施設、キャンプ場、コテージ、根古屋亭、貸農園、飛駒和紙会館等の維持管理・運営を指定管理者に適切に実施させる。市は維持管理・管理運営状況等を把握し、指導を行う。				施設の利用促進と宿泊客の確保。貸農園の利用促進。和紙会館での伝統文化の周知など。						
				活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
				修繕箇所数	件	2	2	2	2	2
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）										
宿泊客、観光客				対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
				市の観光客入込数	千人	6,503	6,429	8,600	8,700	8,800
				市の観光客宿泊数	人	40,914	56,943	61,000	62,000	63,000
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）										
適切な施設及び周辺の整備及び伝統文化の周知を行うことによる利用者の拡大を図る。				成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				施設利用者数	人	目標 2,600	2,600	2,700	2,800	2,900
						実績 1,215	1,578			
				指定管理料除く収入実績	千円	目標 5,650	5,950	6,250	4,800	4,900
						実績 3,774	5,037			
④結果（どのような結果に結びつきますか？）										
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。				上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				案内看板設置・改修箇所数	箇所	目標 1	2	2	2	2
						実績 2	2			
						目標				
						実績				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	12,778	14,315	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	12,778	14,315	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	12,284		
					使用料及び賃借料	1,127		
				需用費	787			
				役務費	117			
人件費	職員従事工数	人工	0.06	0.18	0	0		
	人件費計(B)	千円	440	1,312	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,218	15,627	0	0		

B表（事後評価シート）

事務事業名	根古屋森林公園指定管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成3年度、根古屋森林公園建設に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より指定管理者制度導入を導入し、みかも森林組合を指定管理者として指名している。利用者数は減少傾向にあり、キャンプ場、コテージ等以外の根古屋亭（そばレストラン）、和紙会館の利用者が伸びていない。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	施設や備品の老朽化が進んでいる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善（成果向上の見直し）	感染症対策による安心安全の受け入れ体制を整えた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	委ねている	対象・意図を見直す必要がある	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
インターネット予約等の運営上の工夫により利用者の増加を図るとしたが、取り組めなかった。			成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染が落ち着いてきているが、感染症拡大前の数字に戻っていない。 Web予約ができず、現地で現金払いとなる。		必要となる修繕等、リピーターの誘客アップ インターネット予約等の運営上の工夫により利用者の増加を図る。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性		(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策	
目標達成度	大			事業のやり方改善（成果向上の見直し）		インターネット予約等の運営上の工夫により利用者の増加を図る。	
	中		○	* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。			
	小			インターネットによる予約受付			
		大	中	小	成果向上余地		

事務事業マネジメントシート

事務事業名		蓬山ログビレッジ指定管理事業				本年度担当課	観光推進課		
						前年度担当課	観光推進課		
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業		
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業		
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業		
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	指定管理者		
	一般	07	01	06	蓬山ログビレッジ指定管理事業	事業分類	施設維持管理事業		
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成18年度 ~		市長公約	該当なし	
根拠法令・条例等		佐野市観光施設条例		佐野市観光施設条例施行規則				総合戦略	該当なし

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）																
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）					令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）											
総合案内施設、コテージ、よもぎの湯、フィッシングセンター、蓬山レストラン等の維持管理、運営。 平成18年より指定管理者制度導入、作原地区むらづくり推進協議会を指定管理者としている。					コテージ運営による宿泊客の確保やよもぎの湯を中心とした日帰り客の誘致。蓬山レストランやフィッシングセンターによる誘客。 例年春、秋に開催されている蓬山まつりは、新型コロナウイルス感染症感染対策のため中止した。 遊具の適切な修繕工事を行った。											
										活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
										各種契約事務	件	1	1	1	1	1
施設整備、修繕	回	1	4	2	2	2										
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）																
①蓬山ログビレッジ ②市民 ③観光客全般					対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)				
					施設床面積		m ²	1,004	1,004	1,004	1,004	1,004				
					市民の数(人口)		人	116,982	115,700	114,000	112,000	109,878				
					市の入り込み客数		千人	6,503	6,429	8,600	8,700	8,800				
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）																
観光客、宿泊客の誘致を図り、施設及び周辺の活性化及び、伝統文化などの周知を目的とする。また施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保する。					成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
					利用者数		人	目標	25,000	25,000	25,000	20,000	20,000			
								実績	4,891	13,646						
					施設利用料		千円	目標	12,000	12,000	12,000	10,000	10,250			
実績	2,587	7,591														
④結果（どのような結果に結びつきますか？）																
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。					上位成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
					体験型宿泊施設修繕箇所数		箇所	目標	5	10	12	14	16			
								実績	12	10						
								目標								
			実績													

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度(実績)		R4年度(実績)		R5年度(目標)		R6年度(目標)		R7年度(目標)		
	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0		
	県支出金	千円	0		0		0		0		0		
	地方債	千円	0		0		0		0		0		
	その他	千円	0		0		0		0		0		
	一般財源	千円	5,454		7,898		0		0		0		
	事業費計(A)	千円	5,454		7,898		0		0		0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
					委託料	4,655							
					負担金、補助及び	1,283							
				工事請負費	702								
				使用料及び賃借料	607								
				需用費	559								
		役務費	93										
人件費	職員従事工数	人工	0.06		2		0		0		0		
	人件費計(B)	千円	440		14,574		0		0		0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,894		22,472		0		0		0		

B表（事後評価シート）

事務事業名	蓬山ログビレッジ指定管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成4年度、蓬山ログビレッジ建設に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より指定管理者制度を導入し、作原地区むらづくり推進協議会が指定管理者となった。近年は類似施設の増加や施設の老朽に伴い、利用者数が伸び悩んでいる。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	閑散期（冬季など）や平日などの運用方法（利用料金）について各種利用料金設定の改正について

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善（成果向上の見直し）	指定管理者との打ち合わせ回数を増やし、改善点について協議した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	委ねている	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携できている	あきやま学寮等指定管理事業、根古屋森林公園指定管理事業	成果向上余地がある程度ある	向上しなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
指定管理者との打ち合わせ回数を増やし、改善点について協議した。			成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら運営したが、新型コロナウイルス感染症の影響が残っていた。		継続的なイベントの実施。広く周知する。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性		(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策	
目標達成度	大		○	事業のやり方改善（成果向上の見直し）		管理人のパソコン活用 体験メニューの指導者確保	
	中			* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。			
	小			予約体制の構築(インターネット予約) 現在のニーズに合わせた体験メニューの見直し			
		大	中	小	成果向上余地		

事務事業マネジメントシート

事務事業名		温泉スタンド維持管理事業				本年度担当課	観光推進課		
						前年度担当課	観光推進課		
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業		
	政策	01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業		
	施策	02 魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	02 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業		
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	直営		
	一般	07	01	06	温泉スタンド維持管理事業	事業分類	施設維持管理事業		
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成13年度 ~		市長公約	該当なし	
根拠法令・条例等		佐野市温泉スタンド条例						総合戦略	該当なし

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）										
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）			令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）							
市民や道の駅利用者等の観光客に温泉の提供を行う。また、保守管理や水質検査を業務委託により実施し、施設の適正な管理を行う。			機器の保守管理、温泉の水質検査の実施 一般給湯口での一般客への温泉提供及び隣接する「道の駅どまんなかたぬま」の足湯での利用							
			活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			保守点検回数		回	24	24	24	24	24
			水質検査回数		回	1	1	1	1	1
施設修繕回数		回	0	0	1	1	1			
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）										
温泉スタンド			対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
温泉スタンド			温泉スタンド箇所数		箇所	1	1	1	1	1
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）										
市民や観光客に温泉を供給する。			成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			温泉利用量		t	目標 2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
						実績 360	293			
						目標				
						実績				
④結果（どのような結果に結びつきますか？）										
市有観光施設で安全な利用が可能になっている。			上位成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			案内看板設置。改修箇所数		箇所	目標 1	2	2	2	2
						実績 2	2			
						目標				
						実績				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)		R4年度 (実績)		R5年度 (目標)		R6年度 (目標)		R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0	
	県支出金	千円	0		0		0		0		0	
	地方債	千円	0		0		0		0		0	
	その他	千円	0		0		0		0		0	
	一般財源	千円	1,427		1,452		0		0		0	
	事業費計(A)	千円	1,427		1,452		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	1,034						
					需用費	403						
				役務費	15							
人件費	職員従事工数	人工	0.06		0.04		0		0		0	
	人件費計(B)	千円	440		291		0		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,867		1,743		0		0		0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	温泉スタンド維持管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町において平成12年度温泉掘削工事を実施後、湯量や施設建設費用に不足を生じたため、温泉スタンドを設置し、市民に無料で温泉水を提供することとなった。平成24年から道の駅どまんなかたぬまにおいて、くみ上げたお湯を足湯として利用開始した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	衛生上の観点や温泉利用者の温泉への信頼確保の観点から、定期的な温泉成分分析の義務付けられた。近年は湧出量が不安定かつ低下傾向にあり、希望の時間に希望の湯量を提供することが、難しくなっている。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	利用者からここ1年ほど湯が出ないことがよくあるが、停めているのかとの質問があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
温泉成分分析を実施し、安全に提供できるようにしている。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中	○			
	小				
		大	中	小	
		成果向上余地			

事務事業マネジメントシート

事務事業名	須花坂公園維持管理事業						本年度担当課	観光推進課		
							前年度担当課	観光推進課		
政策体系	基本目標	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業		
	政策	01	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業		
	施策	02	魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	02	利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業		
予算科目	会計	款	項	目	予算事業名			事業区分	実施方法	一部委託
	一般	07	01	06	須花坂公園維持管理事業				事業分類	施設維持管理事業
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成6年度 ~					市長公約	該当なし
									総合戦略	該当なし
根拠法令・条例等	佐野市観光施設条例、佐野市観光施設条例施行規則									

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）																
目的	事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）					令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）										
	須花坂公園および周辺の遊歩道の維持管理を下彦間むらづくり推進協議会への委託により行う。					須花坂公園及び周辺の遊歩道及び公衆トイレの維持管理										
	活動指標					単位	R3年度（実績）	R4年度（実績）	R5年度（目標）	R6年度（目標）	R7年度（目標）					
	業務委託数					件	3	3	3	3	3					
修繕件数					件	0	1	1	1	1						
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）																
目的	市民、観光客					対象指標					単位	R3年度（実績）	R4年度（実績）	R5年度（目標）	R6年度（目標）	R7年度（目標）
	市民数					人	116,982	115,700	114,000	112,000	109,878					
	市の観光客入込数					千人	6,530	6,429	8,600	8,700	8,800					
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）																
目的	須花坂公園の良好な運営による来場者の増加農産物などの売上増加					成果指標					単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	須花坂公園売上額					千円	目標	21,000	21,000	21,000	22,000	23,000				
							実績	14,036	13,736							
							目標									
						実績										
④結果（どのような結果に結びつきますか？）																
目的	観光資源が安全な利用が可能になっている。					上位成果指標					単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	案内看板改修箇所整備数					箇所	目標	1	2	2	2	2				
							実績	2	2							
							目標									
						実績										

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	R3年度（実績）		R4年度（実績）		R5年度（目標）		R6年度（目標）		R7年度（目標）		
	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0		
	県支出金	千円	0		0		0		0		0		
	地方債	千円	0		0		0		0		0		
	その他	千円	456		450		0		0		0		
	一般財源	千円	515		523		0		0		0		
	事業費計(A)	千円	971		973		0		0		0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
					使用料及び賃借料	743							
					委託料	194							
					役務費	22							
					需用費	13							
人件費	職員従事工数	人工	0.03		0.04		0		0		0		
	人件費計(B)	千円	220		291		0		0		0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,191		1,264		0		0		0		

B表（事後評価シート）

事務事業名	須花坂公園維持管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成6年度、須花坂公園施設整備に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	売上額に大幅な変化は見られない。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持（従来通り実施）	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑦成果向上余地前年度評価結果	⑧左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携できている	須花坂公園憩い館維持管理事業	成果向上余地がない	取組むことができなかった
⑨取組結果の理由			⑩事務事業の成果向上余地
地域の協力を得て順調に事業が行われたので、取組を行わなかった。			成果向上余地がない
⑪A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑫目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の影響で来場者の減及び営業自粛により目標に達することができなかった。		安定的な営業と観光PRにより誘客を図る。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中		○		
	小				
	成果向上余地				

事務事業マネジメントシート

事務事業名	須花坂憩い館維持管理事業					本年度担当課	観光推進課	
						前年度担当課	観光推進課	
政策 体系	基本目標	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業 区 分	新規・継続	継続事業
	政策	01	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				実施計画・一般	一般事業
	施策	02	魅力ある観光資源の開発と整備				市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	02	利便性の高い観光施設の整備・維持管理				任意・義務	任意的事業
予算 科目	会計	款	項	目	予算事業名			
	一般	07	01	06	須花坂憩い館維持管理事業			
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成6年度 ~				
根拠法令・条例等	佐野市観光施設条例、佐野市観光施設条例施行規則							

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）															
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）					令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）										
須花坂公園憩い館（そばレストラン）の管理運営を下彦間むらづくり推進協議会そば部会への委託により行っている。					須花坂公園憩い館の適切な維持管理を行う。 ・し尿浄化槽維持管理委託 ・消防設備保守点検委託 ・水道管修繕、空調機修理、給茶機修繕										
					活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)				
					業務委託件数	件	2	2	2	2	2				
					修繕箇所数	箇所	0	3	2	2	2				
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）															
市民、観光客					対象指標					単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
					市民数	人	116,982	115,700	114,000	112,000	109,878				
					市の観光客入込数	千人	6,530	6,429	8,600	8,700	8,800				
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）															
利用できるように、また憩い館の売上、来客者の増加につなげる。					成果指標					単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
					売上額	千円	目標	12,498	12,500	12,500	13,000	13,500			
							実績	10,184	10,586						
					利用者数	人	目標	20,000	20,100	20,200	20,300	24,000			
							実績	12,434	12,721						
④結果（どのような結果に結びつきますか？）															
観光資源が安全な利用が可能になっている。					上位成果指標					単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
					案内看板改修整備箇所数	箇所	目標	1	2	2	2	2			
							実績	2	2						
							目標								
							実績								

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(目標)	R6年度(目標)	R7年度(目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	168	173	0	0	0	
	一般財源	千円	179	201	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	347	374	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	259		
					需用費	116		
人件費	職員従事工数	人工	0.04	0.08	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	293	583	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	640	957	0	0	0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	須花坂憩い館維持管理事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成6年度、施設建設に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	来場者数、売上額に大きな変化がなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響で数値が下がった。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	施設の老朽化に伴う修繕要望が増えてきた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	施設使用料について、類似施設と異なる部分もあり、検討が必要である。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携できている	須花坂公園維持管理事業	成果向上余地がない	向上しなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
検討したが、結論が出なかった。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
新型コロナウイルス感染症の影響で来客数の減少と店舗自体の営業自粛などによる。		安定した店舗営業や観光PR	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性		(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策	
目標達成度	大		○	受益者負担の適正化		使用者との調整	
				* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。			
	中			施設使用料について検討が必要である。			
	小						
		大	中	小	成果向上余地		